

匝瑳市における認知症に対する取り組みについて

(平成 29 年 9 月末現在)

◆認知症サポーター養成講座に関して

*受講数 (平成 18 年度～ 延べ 2,960 名)

一般市民 319 名	市役所職員 359 名
地区社協・民生児童委員 92 名	保健推進員 121 名
小中学校 1,167 名	商工会・商店街組合 40 名
金融機関・郵便局 44 名	一般企業等 104 名
警察署・消防 36 名	介護保険事業者 76 名
匝瑳市民病院リハビリテーション科 9 名	シニアクラブ 295 名
寿大学 53 名	各種ボランティア団体 98 名
	年金友の会 125 名
匝瑳レディース学級 14 名	野栄ウォーキングサークル 25 名
更生保護女性会 54 名	

*キャラバン・メイト数 (サポーター養成講座講師役) 20 名

地域包括支援センター (主任ケアマネ 2、社会福祉士 2、保健師 3)

在宅介護支援センター (九十九里ホーム 2、太陽の家 1、花園 1)

行政職員 (保健師 1)

介護サービス事業所 (施設) 九十九里ホーム 2、太陽の家 1
 <デイ>すずらん 1
 <ケアマネ>オルタロングワン 1
 つばき 1

薬局 (毎日薬局薬剤師 1)

匝瑳市社会福祉協議会 1

◆認知症の早期発見・適切な対応に向けて

- ・主治医、介護保険事業者との連携
- ・個別ケース支援
- ・認知症多職種協働研修の開催
- ・千葉県オレンジシートの活用
- ・千葉県認知症コーディネーター研修の受講

◆認知症の見守り・理解に向けて

*オレンジカフェ（認知症カフェ）

平成 26 年 8 月から地域包括支援センター主催で月 1 回開催。平成 28 年度より「認知症と共に生きるオレンジの会」主催の形となり、月 1 回開催中。

*家族のつどい

認知症の人を介護している家族の相談・情報交換等の場。平成 18 年度～平成 25 年度において、年 1 回開催。

平成 26 年度からオレンジカフェ（認知症カフェ）にて介護者同士の交流を図ってきた。今年度は「認知症の方を介護する家族等の会」として平成 30 年 1 月 21 日（日）10 時から八日市場公民館で交流会を実施予定。

*認知症支援ボランティア

平成 25 年から、オレンジカフェ（認知症カフェ）や認知症サポーター養成講座での寸劇ボランティア等の市民ボランティアを募集し、平成 28 年度から「認知症と共に生きるオレンジの会」として自主組織化され、現在 30 名近くの方が活動している。

*高齢者 SOS ネットワーク ※高齢者支援課

高齢者が徘徊等により一時的に所在不明になった際に、少しでも早く発見できるよう、ファクシミリ等を情報連絡手段としながら、関係機関が発見協力体制をとるシステム。

◆認知症の予防・普及啓発に向けて

*脳リフレッシュ塾

認知症についての正しい理解と予防法を知り、また外出の機会となることを目的に、平成 26 年度より開催。

<内容>・体操が中心の教室で、運動しながら数を数えたり、しりとりをする等して、脳の活性化を図る

*出前教室

地域からの申し出に対し、出前教室を開催。平成 29 年度は各シニアクラブ等にて認知症についての講話を行った。